

V 基金が対処すべき課題

野菜は、年間家計食料品消費支出の約1割を占め、また、国民の健康を維持し、健全な食生活を図る上で重要な役割を担っているとともに、農業総産出額の約4分の1を占め、米、畜産と並ぶ重要な農産物となっている。一方で、若年層を中心に野菜消費は減少傾向にあり、また、供給面では、担い手の高齢化、機械化の立後れ等により、国内生産が漸減傾向にあるとともに、生鮮品を始めとして輸入野菜が増加するといった事態がみられた。

このような状況の中で、国際競争力のある野菜産地の確立を図るために、野菜の生産、流通、消費に至る各段階での構造改革を進めることが求められている。

上記の構造改革を円滑に推進していく上で、野菜農家の経営の安定、野菜価格の安定を図ることが重要であり、野菜価格安定制度を担う当基金は、その業務の重要性を改めて認識し、価格安定業務等の一層の効率的な運営に努めるとともに、新たな制度の適切な運営を期すほか、生産、流通、消費に至る幅広い野菜に関する情報・資料を、正確かつ適時に生産者、流通業者、消費者等へ提供すること等により、野菜を通じた健全な国民生活の実現を課題としている。

また、当基金は平成15年10月1日に農畜産業振興事業団と統合し、業務の適正・効率化、透明性の確保等を運営の基本とする独立行政法人になることから、これまでにも増して、効率的な業務運営を図るとともに、国民に対して提供するサービス等業務の質を向上することを課題としている。

資料 1

指定野菜及び特定野菜

指定野菜

キャベツ	きゅうり	さといも	だいこん	たまねぎ
トマト	なす	にんじん	ねぎ	はくさい
ばれいしょ	ピーマン	ほうれんそう	レタス	

特定野菜

アスパラガス	いちご	えだまめ	かぶ	かぼちゃ
カリフラワー	かんしょ	グリーンピース	ごぼう	こまつな
さやいんげん	さやえんどう	しゅんぎく	しょうが	すいか
スイートコーン	セルリー	そらまめ	ちんげんさい	生しいたけ
にら	にんにく	ふき	プロッコリー	みつば
メロン	やまのいも	れんこん		

